

中土佐町地域福祉計画 かわら版

「安心して誰もが地域で自分らしく暮らすことのできるまち」

平成30年3月発行

中土佐町の地域福祉計画について

中土佐町では、「安心して誰もが地域で自分らしく暮らすことのできるまち」を目指し、平成29年3月に「中土佐町第2期地域福祉計画（平成29～33年度）」を策定しました。第2期地域福祉計画を着実に実行していくために、「地域福祉計画推進会議」を開催し、計画の進捗管理、評価、見直しを行うこととしています。

なお、中土佐町第2期地域福祉計画については、中土佐町ホームページに掲載しております。



地域福祉計画推進会議を開催しました

平成30年3月13日に平成29年度中土佐町地域福祉計画推進会議を開催しました。推進会議では、主に平成29年度の取り組み報告と平成30年度の取り組み案が議題となりました。

【地域福祉計画推進会議 議事】

1. 委員長、副委員長の選任

委員長： 小木曾 早苗 氏

副委員長： 山本 新一 氏

2. 平成29年度の取り組みに関する活動報告 〈重点取り組み〉

1. 権利擁護支援センターの運営

平成29年7月から中土佐町社会福祉協議会内で「権利擁護支援センター」の運営を開始した。相談支援機関からの相談を受け、スーパーバイズや法律の専門家による専門相談を行っている。また、成年後見制度や虐待対応研修会などを実施した。

平成30年度も継続して運営し、権利擁護支援の展開をさらに図っていく。

2. ボランティア活動の支援基盤の強化

町内のボランティア団体の活動を社協ホームページで情報提供を行った。傾聴ボランティア養成講座を開催し、9名が受講した。町内3カ所で災害ボランティアセンター運営模擬訓練を実施した（参加者111名）。

平成30年度もボランティアセンターについての情報発信、傾聴ボランティア講座の開催、災害ボランティアセンター模擬訓練を継続して実施する。



裏面に続きます

地域アクションプラン 平成 29 年度の取り組み及び平成 30 年度の取り組み

久礼地域アクションプラン

目指す姿 声かけあい・つながりあい・支え合う まち

平成 29 年度の取り組み及び平成 30 年度の取り組み

1. 誰もが参加しやすい防災活動を展開します

4 地区で自主防災単位の防災学習や町内一斉避難訓練の振り返りの機会に合わせて「小地域ケア会議」を開催。1 地区では防災学習に取り組んだ。防災学習や夜間避難訓練等の実施について「小地域ケア会議」で検討する。新たに「小地域ケア会議」を 3 力所で開催する。

2. 小地域単位で地域の支え合いネットワークを作ります

生活上の困りごとや地域生活課題等について検討できるよう「小地域ケア会議」を継続する。民生委員児童委員や地域ふくし活動推進委員と地域住民が顔を合わせたり、話し合うことができる機会を持つ。

3. 地域福祉の担い手づくりをします

「小地域ケア会議」に新たに 8 名の方が参加した。「小地域ケア会議」等への地域活動に 20~60 代が参加できるよう働きかける。



委員からのご意見

- 活動への参加は楽しんでできている。今後はもう少し協力者を増やしていくことが課題。(山本委員)
- 来年度の取組についてはほとんど既に取り組んでいるもの。今後も各地域で継続して欲しい。(坂井委員)

上ノ加江地域アクションプラン

目指す姿 目くばい・気くばい・思いやりのまち上ノ加江

平成 29 年度の取り組み及び平成 30 年度の取り組み

1. 小地域ケア会議に若手(20代~60代)が参加できるよう取り組みます

若手主体の地域行事の発見や地区の強みを再確認することができた。「小地域ケア会議」で、地域福祉に関する学びや交流事業へ若手が参加・継続して関われるよう検討し取り組む。

2. それぞれが役割を担える生きがい活動に取り組めます

地区での交流事業を子どもの夏休みに開催した。集いの場の開催を希望する 2 地区について、「小地域ケア会議」で協議し、地区に応じた集いの場について包括やあったかと連携しながら取り組む。

① 個々の困りごとに応じた支援

「小地域ケア会議」で共有・検討し、それぞれの役割分担を行うことで日々の見守りや住民活動につながった。今後も継続する。

② 地域での子育て

子どもの学びの場の展開やふれあい訪問の回数を増やすことで子どもとの関係づくりにつながった。多世代交流や「おとなりふれあい会」によるふれあい訪問を学校等関係機関と連携しながら継続して取り組む。



委員からのご意見

- おとなりふれあい会活動で今年度からは子どもたちとのふれあい訪問が2回になった。高齢者は子どもが訪問するとすごく喜ばれる。町外の家族のところに行く方もおり、それぞれ事情はあるが在宅生活の継続が難しくなっている。(木村委員)

矢井賀地域アクションプラン

目指す姿 人とひと絆深める安心の里

平成 29 年度の取り組み及び平成 30 年度の取り組み

1. 住民によるサテライトの充実

住民のみの運営時間を設定したり、防災訓練や学び、課題解決に向けてサテライトを活用した。「小地域ケア会議」で協力しながら生きがい活動として運営できるよう継続して取り組む。

2. マップやカードも継続しながら、見守りの強化に取り組めます

「小地域ケア会議」で大矢井賀は買い物や避難行動要支援者の抽出を行い、小矢井賀は、緊急時に備えた日頃の見守り方法について検討し、新たな見守り対象者の抽出や住民活動につながった。住民や関係機関と協力・連携した個別支援の継続と充実を図る。

3. 現在行われている行事の継続と充実

サテライトで若い世代の巻き込みや集いの場の必要性について住民同士で共有し、地域行事へ若い世代も参加した。現在の行事を継続し、「小地域ケア会議」で確認を行う。



委員からのご意見

- サテライトでは高齢の方に教えてもらいながら昔遊びをした。小矢井賀の運動会では避難道を利用して防災倉庫の中を確認した。地域の子どもの数が少ないので他の地域の子どもにも参加してもらいたい。(三宮委員)
- 大矢井賀サテライトは人数が増えている。みんなの意見を聞きながら充実させたい(戸田委員)

大野見地域アクションプラン

目指す姿 結いの精神が引き継がれる里

平成 29 年度の取り組み及び平成 30 年度の取り組み

1. 小地域ケア会議の展開

北地区で 2 回、荒瀬・久万秋・橋谷地区で 1 回「小地域ケア会議」を開催。「つながる安心カード」の必要性の再確認により、高齢者世帯やひとり暮らし世帯への作成促しや更新につながった。中央地区については地域ふくし活動推進委員等と検討し、新たに 2 地区で開催する。

2. 高齢者の生きがい・健康づくり

高齢者の特技を活かした学びが自宅で実施され、高齢者の生きがいづくりと地域とつながるきっかけとなった。萩中で新たな地域主体の集いの場「ほっとせせらぎの会」が誕生した。「学ぶ」「交わる」場を小地域での開催も視野に入れて関わる場面を増やしていく。

3. 地域福祉の担い手育成

子供たちが地域を巡り大野見の昔と今について話し合う「大野見巡り」を地域ふくし活動推進委員会と実施し、地域福祉研修会で「バリアフリー調査」と合わせて活動報告を行った。権利擁護研修会等で稼働世代と関わることをきっかけに他の地域福祉活動への参加を働きかける。



委員からのご意見

- 権利擁護研修会に参加した小学 6 年生が「親子の広場」に「大野見が一体となって作るのは素晴らしい。続けてほしい」と感想を書いてくれた。(正岡委員)
- 今まで参加されなかった方がほのほの大野見に脳トレを楽しみに参加された。地域福祉研修会/権利擁護研修会に参加して良かったとの声が多く聞かれた(下元委員)

裏面に続きます

〈発展しつつある取り組み〉中土佐チャレンジプロジェクト

①未就労調査対象者や障害者等に「はたらく」経験の場を提供した。②高校生4名が中土佐町、須崎市の事業所で就労体験を行った。

平成30年度は、未就労者調査対象者や障害者が社会参加や地域活動、就労に向けた経験ができるよう町内の事業所での見学や体験を実施する。

3. 平成29年度事業評価表について

地域福祉計画に基づく平成29年度の町及び社協の事業の実施に関して、評価し、平成30年度の事業の取組内容について共有しました。

4. 平成30年度重点取り組みが決定

1. 多機関の協働による包括的支援体制の構築

対象者本人の課題のみに着目しても解決が難しい事例や制度の狭間にある事例、経済的困窮のため適切に制度利用ができない事例等に対して世帯丸ごとを捉え支援する視点や支援機関間の連携体制を強化するため、包括化推進員を配置し、権利擁護支援センターの運営、世帯丸ごとの地域生活課題解決に向けた安心生活応援ネットワーク会議、課題解決に向けた地域づくり・資源開発会議等を行う。

2. 社会福祉協議会の基盤強化・発展強化計画の実行

平成29年度に策定した、「社会福祉協議会基盤強化・発展強化計画」に基づき、平成30年度から計画を実行する。

3. 平成30年度地域アクションプランの取り組み ※前掲

5. その他

地域福祉計画の見直しについて

平成18年に自殺対策基本法が制定され、国を挙げて自殺対策を総合的に推進してきました。自殺対策は生きる支援であり、地域づくりにも深く関わることから、中土佐町では、現行の第2期地域福祉計画の一部に自殺対策計画を盛り込むため、平成30年度に計画の見直しを図ることとしました。

地域福祉について

中土佐町地域福祉計画「かわら版」をご覧ください、ありがとうございます。

中土佐町では、町内3カ所に、地域福祉の拠点として「あったかふれあいセンター」を開所し、子どもから高齢者、障害を問わず誰でも集える場や訪問、相談、つなぎ、各イベント等を行っています。興味のある方はぜひあったかふれあいセンターの活動にご参加ください。

◆問い合わせ先

【中土佐町役場健康福祉課】TEL：0889-52-2662

【中土佐町社会福祉協議会】TEL：0889-52-2058

【あったかふれあいセンターまんまる】TEL：0889-52-2258（久礼）

【あったかふれあいセンター寄り家】TEL：0889-54-0335（上ノ加江）

【あったかふれあいセンターほのぼの大野見】TEL：0889-57-2217（大野見）